

多摩川が東京湾と出会う河口には、運ばれてきた砂や土砂が堆積してできた、広い干潟があります。干潟の周りにはアシやガマやイグサの仲間などの植物が繁り、カニやゴカイの仲間が住み、彼らをエサとする野鳥たちなどたくさんの生き物が支え合っています。

一口で干潟と言っても実は様々なタイプの泥や砂からつくられます。また、そこでくらすカニもいろいろな種類がいます。

ヤマトオサガニは大きくなると5~6cm。満潮になると完全に水没する水分の多い泥状の干潟で多く見られます。斜めの巣穴を掘り、時には干潟を埋めつくすようなたくさんの群れを見ることができます。

**5月から夏にかけてはカニの季節。
こどもとカニは仲よし…こわいけどさわりたい!**

多摩川河口干潟で暮らすカニたち



ヤマトオサガニ



コメツキガニ



クロベンケイガニ



アシハラガニ

ややかわいた、固めの土質の干潟で多く見られるのは、チゴガニです。甲幅12mmほどの小さなカニですが巣穴を掘りそのまわりで白いハサミをさかんに素早く振っている姿が目立ちます。意外に干潟の手前の土手の近くで見ることができます。

コメツキガニは甲幅10mmほどの小さなカニです。砂質の干潟に巣穴を掘り、群れをつくってくらしています。砂をハサミで摘んで口に入れ、栄養分をこしとり、不要な砂を砂団子にして吐き出すようすが観察できます。

干潟に広がるアシ原のそばでじっとしていると、たくさんのアシハラガニが現れてくる時があります。甲幅は5~6cm!ほどですが、ハサミが大きく力が強く他のカニをおそっているようすも見かけます。他にクロベンケイガニ、ベンケイガニ、ケフサイソガニ、カクベンケイガニ、マメコブシガニ、アカテガニなどのカニの仲間が見られます。

情報提供: NPO法人多摩川干潟ネットワーク 佐川 麻理子さん

8月2日は、いかだ下り&コンサート。せせらぎ館で夏を満喫!

10:00~13:00 かわさき多摩川博 2014

エコな材料で作ったいかだにのって多摩川を流れよう!

エコ★カップ いかだ下り



~川・陸の連携、そして川崎の未来へ~

コース:ニヶ領せせらぎ館宿河原堰下から
県立多摩高等学校裏河川敷

18:00~ 多摩川夕涼みコンサート

多摩川の夕日の中で、パワフルな演奏を楽しもう!

愛する人に捧げる Melody

ポップインストユニット

style-3!



会費: 1,000円(中学生以下は無料)

場所:ニヶ領せせらぎ館下河川敷広場